

# あゆーむ通信

## vol.18

春の訪れ、新しく芽吹くものは…

### 三味線と

## 胡弓の調べ

いつ 3月26日(土)

午後6時開演

(午後5時30分開場)

どこで ホール

入場料 全席自由

一般……………500円

高校生以下……………300円

(当日200円増し)

高橋 昭



津軽三味線 高橋兄弟

高橋 治



おのりまみ 音里間満生(胡弓)

#### ▼曲目

第一部 津軽三味線高橋兄弟

「津軽じよんがら節」

「津軽よされ節」ほか

第二部 音里間満生(胡弓)

「最上川舟唄」

「越中おわら節」

「蘇州夜曲」ほか

#### ▼問い合わせ・チケット

あゆーむ、白鷹町教育委員会

会(☎85-6146)ほか

#### 胡弓とは

胡弓は、中国の二胡や西洋のヴァイオリンに似た、日本の楽器です。その魅力は、どこか哀愁を帯びた独特な音色と、日本で唯一の擦弦楽器(さつげんがつき)としてのなんとも言えない表現力を持っていることです。

胡弓の誕生は、400年前に遡ります。江戸時代の文献には、いくつかの流派や名人の話が数多く見られ、もともと「三曲合奏」と言え、三弦・箏・胡弓の演奏スタイルのことでした。明治に入ると、演奏が難しい、音量が小さいという楽器の性格から、西洋楽器や尺八の普及にも押され、衰退していききました。そのため、今日では耳にすることも少ない楽器になりました。ぜひこの機会にあゆーむで鑑賞ください。

#### 津軽三味線 高橋兄弟

長井市生まれ。平成12年に兄弟2本の津軽三味線で「長井あやめライブ」を開始。平成14年に「津軽三味線高橋兄弟」誕生、これまでに「釜の越ライブ」(白鷹町)、「南陽菊祭りライブ」(白鷹町)、「ホーテロ村ライブ」(寒河江市)、「幸手ボサノバライブ」(埼玉県)などを手掛ける。その他、平成19年より3年間に渡り「手打ちそば宝山」(南陽市小滝)にて兄が冬期間のみ三味線生演奏を実施するなど、各方面で活躍中。

#### 音里間満生

山形市生まれ。三味線音里間流二代目。胡弓は加賀山流・加賀山昭氏(石川県)に師事。胡弓の魅力にとりつかれ、県内唯一の胡弓奏者として日本民謡・叙情歌・中国民謡・創作曲と幅広く手掛けており、民謡CDを発売するなど活躍の場を広めている。(財)日本民謡協会 三味線教授・山形県民謡振興会 三味線講師・日舞若柳流名取・山形県花笠指導員(理事)・書道墨華会師範

#### お知らせ

あゆーむの管理運営が指定管理者にかわります。

《指定管理者》  
あゆーむ運営管理

共同企業体

株式会社シグマ  
東北警備保障株式会社

(平成22年10月12日に指定管理者の募集を開始し、5団体の応募の中から、平成

22年11月25日に選定されました。)

施設使用料およびギャラリー通常展の料金は変更ありませんが、新たに購入した備品の使用料などの追加がございます。詳細はお問い合わせください。今まで以上に、皆さまに使いやすい施設となるよう努力して参ります。